

## 取扱説明書

OS : Windows 10 IoT Enterprise

型番:TW2A-E9LT

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。別冊「使用上のご注意・サポートガイド」と本書をよくお読みのうえご使用ください。また、保証書裏面の「保証規定」をよくお読みください。

### 重要保管

本書は必要なときすぐにご覧になれるようお手元に保管してください。

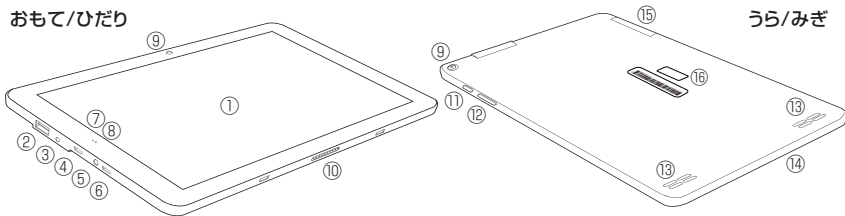
#### 本書で使用しているマークについて

	<b>警告</b> 死亡または重傷を負う可能性がある内容です。		<b>注意</b> 軽傷を負うことや財産への損害が生じる可能性がある内容です。
	操作の際注意するポイントです。		補足説明や知っておくと便利なポイントです。

### 1.セット内容 — はじめにご確認下さい —

- 本体 ● ACアダプター (ACアダプター+ACプラグ)
- 使用上のご注意・サポートガイド ● 保証書 ● 取扱説明書(本書)

### 2.各部の名称と機能



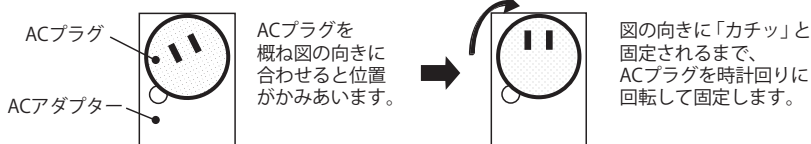
名称	補足説明
①ディスプレイ(画面)	表面に10点マルチタッチパネルを装備しています
②USB3.0ポート(Type-A)	USB機能はホストモードです。USBメモリーや外部キーボードなどUSB機器を接続します
③電源入力端子(DC IN)	付属の専用ACアダプターを接続します
④microHDMI出力端子	ご利用の際は市販のmicroHDMIケーブル(別売)をご用意ください
⑤ヘッドホン兼ヘッドセット端子	ヘッドセットの規格は「CTIA」です(単体マイクは使用できません)
⑥microUSB2.0ポート	USB機能はホストモードです。USB機器を接続する際はUSBプラグ変換ケーブル(別売)をご利用ください
⑦照度センサー	ディスプレイの明るさを自動調整するために周囲照度を検知します
⑧電源ランプ	電源の状態と内蔵バッテリーの充電状態を表します
⑨Webカメラ(内側/外側)	静止画や動画が撮影できるカメラレンズが表面と裏面にあります
⑩拡張ポート	(当社製の専用周辺機器(別売)に接続するための端子です)
⑪電源スイッチ	本機の電源をON/OFFにするスイッチです
⑫音量ボタン	+を押すと音量が上がり、-を押すと音量が下がります
⑬ステレオスピーカー	縦向き使用の際にスピーカーレイアウトが左/右配置となります
⑭内蔵モノラルマイク	小さな穴の内部にモノラルマイクを内蔵しています
⑮メモリーカードスロットカバー	中にmicroSD/microSDHC/microSDXCカードスロットがあります
⑯COAラベル	本機のWindows OSのライセンスラベルです。COAラベルおよびCOAラベルを覆っている透明シールは、はがさずにご利用ください。COAラベル、透明シールは消耗品で、保証期間内外を問わず修理サービス対象外です

ACアダプターから本機へ供給される電力は最大24W未満です。システムの動作負荷状況にもよりますが、接続している外部USB機器の消費電力がたとえUSBの規格内であっても、システムが必要とする消費電力の総和が過大な場合は、ACアダプター接続中にもかかわらず内蔵バッテリーからも電力補助がおこなわれ、バッテリー残量の減少が進行したり、システム動作速度が緩慢になるなどの障害が起きる場合があります。この場合は、セルフパワー型USBハブを介して外部USB機器を接続してください。

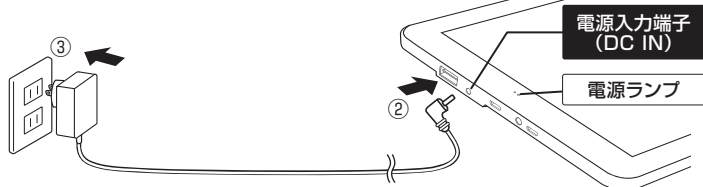
### 3.はじめて電源をONにする前に

#### 3-1.ACアダプターの接続方法と内蔵バッテリーの充電方法

- ① ACアダプターにACプラグを装着します。(以降ACプラグは装着したままにしておきます)



- ② 本機の電源入力端子(DC IN)にACアダプターのDCプラグを挿しこみます。  
③ ACアダプターを電源コンセントに接続します。



電源ランプの点灯色は、それぞれ以下の状態を表しています。

ACアダプターを接続して給電しているとき				ACアダプターを取り外しているとき	
補充電中		満充電		電源ON	電源OFF*
電源ON	電源OFF*	電源ON	電源OFF*	電源ON	電源OFF*
橙色点灯	赤色点灯	緑色点灯	(消灯)	緑色点灯	(消灯)

\*スリープ状態を含みます



発熱や故障、もしくは本機の性能低下の原因になりますので、本機への給電は、必ず付属のACアダプターを使用して、電源入力端子(DC IN)からおこなってください。(図で指定する以外の接続はしないでください。)  
Type-A USBポートやmicroUSBポートからは本機の充電をおこなうことはできませんので、外部バッテリーやDC電源など本機へ給電する装置を接続しないでください。



電源をONにするには一定以上の充電残量が必要ですので、はじめてお使いになるときや、充電残量が少ないときおよび充電残量が0%のときは、30分以上充電をおこなってください。



充電残量が0%になった以降長期間使用されなかった場合は、充電時間が通常時よりも大幅に長くなる場合があります。



バッテリー残量がなくなると使用中でも電源がOFFになります。バッテリーの低残量を知らせるメッセージが出たら、使用しているアプリのデータをすぐに保存してください。



本機に内蔵しているリチウムイオンポリマーバッテリーは、いつでも継ぎ足し充電をおこなうことができます。リチウムイオンバッテリーの特性などについては「別冊 使用上のご注意・サポートガイド」で詳しく説明しています。

### 4.Windowsの初期設定 (「セットアップ」ともいいます)

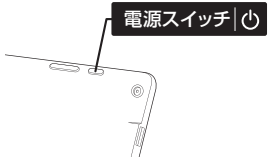
#### 4-1.本機にACアダプターを接続する



Windowsの初期設定をおこなうときは、必ず本機にACアダプターを接続し、給電状態を維持してください。初期設定を実施している間は電源をOFFにしないでください。途中画面が何度か暗くなったり、画面表示の横や縦が切り替わる場合がありますが、故障ではありません。

#### 4-2.本機の電源をONにする

本機上部の裏面にある電源スイッチを押します。



初めて電源をONにするとき、および前回「シャットダウン」で終了したとき

3秒以上長押しして指を離す

前回「スリープ」にしたとき

「カチッ」と短押し

#### 4-3.初期設定の開始

- ① 「Windows 10 使用許諾契約」 (英文のみとなります。ご確認ください。)  
⇒ 右下の「同意」をタップします。
- ② 「このPCを使うのはだれですか?」  
⇒ 任意のユーザー名を入力し、右下の「次へ」をタップしてください。  
名前とは、本機の電源スイッチをONにしたとき、ログイン画面に毎回表示されるユーザー名のことです。
- ③ 「確実に覚えやすいパスワードを作成します」  
⇒ 任意のパスワードを入力し、右下の「次へ」をタップしてください。  
パスワードとは、本機の電源スイッチをONにしたとき、毎回入力することになるログインパスワードのことです。
- ④ 「アクティビティの履歴を利用してデバイス間でより多くのことを行う」  
⇒ 右下の「はい」か「いいえ」を選択してタップします。

Windowsの初期設定はこれで完了です。

#### ● 電源をOFFにする方法

以下のいずれかの方法で電源をOFFにします。

##### 画面表示左下 (Windowsボタン)のタップから操作する方法

⇒次に画面に表示されたアイコンの中にある (電源ボタン)をタップします。続いて画面表示されるダイアログボックス内の「シャットダウン」をタップすると電源がOFFになります。(ダイアログボックスからは、他に「スリープ」、「再起動」を選択することもできます。)

##### 電源スイッチを使用する方法

⇒電源スイッチを3秒以上長押しします。画面にメッセージが表示されたら電源スイッチから指を離します。メッセージ下にある に触れ、そのまま画面下枠まで指をスライドさせると電源がOFFになります。

⇒(スリープにする方法)

電源スイッチを長押しせず、カチッと短押しすると「スリープ」状態になります。

\*電源スイッチの長押しを10秒間以上続けることで本機を「強制終了」することができます。(強制終了処理が開始されたら電源スイッチから指を離してください。)



強制終了による電源OFFは、データ破損など故障の原因になる場合があります。やむを得ない場合以外は、強制終了の操作となる「電源スイッチの10秒長押し」をおこなわないでください。  
電源ONまたはOFFの操作中であっても、電源スイッチから指を離さず10秒間押し続けた場合は動作が「強制終了」に移行され、強制的に電源OFFになります。

### 5.データのバックアップと初期化について

初期化とは、Windowsのシステムが手作業で修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などやむを得ないときに、本機の復旧を目的として本機内の記憶媒体を消去し、初期状態に戻すことです。



本機はWindows 10 標準の初期化機能およびバックアップ機能を有しています。しかしながら本機は、システムの管理者によって、導入用途に応じた仕様のカスタマイズが行われていることが一般的です。初期化によってカスタマイズされた仕様の一部または全部が失われる場合がありますので、初期化をおこなう必要があるときは、あらかじめ管理者に相談してください。

(⇒ 裏面につづきます)

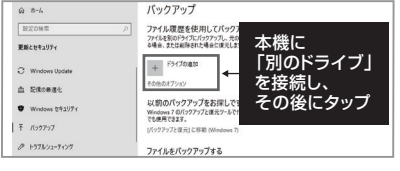
## 5-1.データをバックアップ(複製)する

バックアップとは、外部記憶媒体へのデータ複製のことです。初期化をおこなうと、本機内の記憶媒体のデータはすべて初期状態に戻り、消えたデータが復旧できなくなります。日頃からこまめにバックアップをおこなうとともに、大切なデータはお客様が初期化を実施する前(または修理に出す前)にバックアップをお取りください。

①スタートメニューまたはアクションセンター内にある「**すべての設定**」をタップしてWindowsの設定を開きます。  
⇒「**更新とセキュリティ**」をタップします

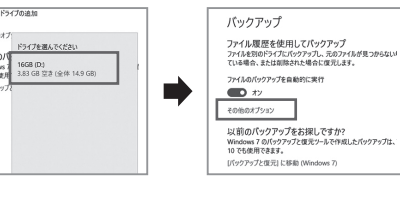


②Windows Update画面が表示されたら「**バックアップ**」をタップします。右のファイル履歴を使用してバックアップ画面が表示されたら⇒**本機に「別のドライブ」を接続** (または挿入)し、その後、「**ドライブの追加**」をタップします。

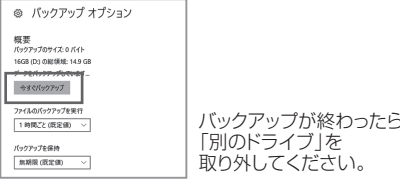


別のドライブとは、USBメモリー、SDカード、外付けHDD/SSDをはじめとする外部の記憶媒体(外部ストレージ)のことです。容量に合ったものをご用意ください。

③画面に「**ドライブを選んでください**」とメッセージが出たら⇒**表示されたドライブ名をタップ(選択)**します。「**ファイルのバックアップを自動的に実行**」がオンになったら⇒「**その他のオプション**」をタップします。



④バックアップオプション - 概要ページが表示されたら⇒「**今すぐバックアップ**」をタップします。  
バックアップが始まります。バックアップが終わり、最新のバックアップ日時が表示されたら、データのバックアップは完了です。



★バックアップしたデータを復元する(初期化後におこなってください)。  
初期化後、再度初期設定が終わったら、データを記録したドライブを本機に接続(挿入)し、④の「**バックアップオプション - 概要**」ページを下にスライド(スクロール)し、「**現在のバックアップからファイルを復元**」をタップします。



ファイル履歴が表示されたら④をタップして進み、ファイルの置換方法を選択します。  
「**ファイル履歴**」⇒「**ファイルの置換またはスキップ**」



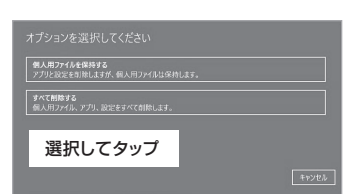
## 5-2.本機の初期化(「リカバリ」ともいいます)を実行する

①本機にACアダプターを接続します。  
初期化が終わるまで、ACアダプターを取り外さないでください。初期化は最大数時間かかる場合がありますが中断はできません。Windowsのデータが破損する場合がありますので、決して電源をOFFにしないでください。途中画面表示が一時的に横・縦に切り替わる場合がありますが故障ではありません。

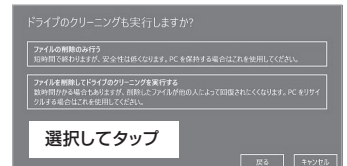
②アクションセンターを開き、「**すべての設定**」をタップします。**Windowsの設定**画面が表示されたら、⇒「**更新とセキュリティ**」⇒「**回復**」の順にタップします。  
このPCを初期状態に戻すの下にある「**開始する**」をタップします。



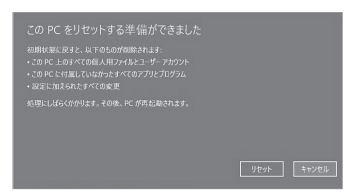
③初期化のオプションをタップ(選択)します。  
■**個人用ファイルを保持する**  
アプリと設定は削除されますが、個人用ファイルは保持される初期化方法です。  
■**すべて削除する**  
個人用ファイル、アプリ、設定がすべて削除され初期状態に戻ります。(続いて**すべて削除する**場合を説明します。)



④初期化のレベルをタップ(選択)します。  
■**ファイルの削除のみ行う**  
不具合などの復旧目的にはこちらが推奨されています。比較的短時間で終わります。  
■**ファイルを削除してドライブのクリーニングを実行する**  
PCをリサイクルする際などに推奨されています。(数時間かかる場合もあります。)



⑤「**リセット**」をタップします。初期化が開始されます。  
何度か画面が切り替わりながら初期化が実行されていきます。途中「**オプションの選択**」が画面表示されたら「**続行**」をタップしてWindows 10の初期設定(セットアップ)画面が表示されるまでそのまま待ち、続いて初期設定をおこなってください。



## 6.本機の仕様について

■製品仕様書などについて  
製品仕様書およびその他の情報は次のWEBサイトからご参照ください。  
[http://pc-support.jp.onkyo.com/pds/spec\\_search.aspx](http://pc-support.jp.onkyo.com/pds/spec_search.aspx)

■有寿命部品、消耗品について  
有寿命部品 ACアダプター、記憶媒体(e-MMC)、液晶パネル、タッチパネル  
消耗品 バッテリーパック、拡張ポート接続端子  
本機には有寿命部品や消耗品が含まれています。有寿命部品の交換時期はご使用になる頻度や条件により異なります。消耗品は性能・機能維持のため適時交換が必要です。有寿命部品や消耗品の部品交換は、保証期間内・外にかかわらず有料です。

■バッテリーサイクルについて  
[ 800サイクル ] 経過時点の満充電時の駆動時間は、初期性能の[ 80% ]以上です  
内蔵バッテリーパックは消耗品です。バッテリーはご使用により徐々に劣化していきます(サイクル劣化)。満充電時の駆動時間が初期性能のおよそ50%付近まで低下した場合、バッテリーは寿命を迎えていますので、オーディオエスPCカスタマーセンターへ交換を依頼してください。[ 別冊 使用上の注意・サポートガイド ]もお読みください。

■補修用性能部品の保有期間について  
補修用性能部品の保有期間 製造打ち切り後2年間  
補修用性能部品の保有期間をもって、製品の修理対応は終了となります。(補修用性能部品とは、製品の機能・性能を維持するために必要な部品で、すべての部品ではありません。)

■無線LANおよびBluetoothワイヤレステクノロジーについて  
2.4GHz帯無線LAN / Bluetoothワイヤレステクノロジー  
この機器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を有する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

①この機器を使用する前に近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。  
②万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえで、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、ローテーションの設定など)についてご相談ください。  
③その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は、下記連絡先にお問い合わせください。  
2.4 GHz帯無線LAN この機器が、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS変調方式/OFDM変調方式の無線装置で、干渉距離が40mであることを示しています。  
\*使用できるチャンネル(ch)は、1ch~13chです。  
Bluetoothワイヤレステクノロジー この機器が、2.4GHz周波数帯を使用するFHSS変調方式の無線装置で、干渉距離が40mであることを示しています。  
\*送信出力はPower Class2で通信範囲は見通し距離約10mです。  
5GHz帯無線LAN (ご利用になる場合は対応する無線LAN親機をご用意ください。)  
この機器は5GHz帯無線LANを内蔵しており、使用できるチャンネル(ch)は以下です。  
IEEE802.11a/n/ac W52:36ch, 40ch, 44ch, 48ch  
W53:52ch, 56ch, 60ch, 64ch  
W56:100ch, 104ch, 108ch, 112ch, 116ch, 120ch, 124ch, 128ch, 132ch, 136ch, 140ch  
\*W52とW53は、電波法によりご利用が屋内に限定されています。

無線LANはネットワークセキュリティキーを利用するなどのセキュリティ設定をおこなったうえで使用してください。セキュリティ設定をしていない場合、第三者に通信内容を盗み見られたり、不正にネットワークへ侵入されたりするおそれがあります。

■瞬時電圧低下について  
この装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満たしております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。なお、内蔵バッテリーの充電残量が不十分な場合は本規格の耐力を満たさないでご注意ください。

■高調波電流規制について  
この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品です。

■電波障害自主規制について  
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

©2022 ODS Corporation  
・製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。  
・本書を含む各種マニュアルの内容は、予告なく変更する場合があります。  
・本書で使用している画像等はそれぞれの表示イメージです。製品と異なる場合があります。  
・本書を含む各種マニュアルの内容について、万が一不審な点や誤り等がありましたら、オーディオエスPCカスタマーセンターへご連絡ください。なお、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、各種マニュアルの記載内容にかかわらず当社はその責を負いません。  
・本製品に内蔵のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用許諾されます。  
・他社製周辺機器およびソフトウェアについては動作を保証するものではありませんので、各販売元にお確かめのうえご購入ください。  
・本製品に記録した著作物は、個人で楽しむなどの場合は、著作権上、権利者に無断で使用できません。本書を含む各種マニュアルの無断転載を禁じます。  
・商標について: Intel, インテル, Intel Inside ロゴ, Intel Inside Celeron, Celeron Insideは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationの商標です。Microsoft, Windows及びWindowsロゴはマイクロソフト企業グループの商標です。microSD, microSDHC, microSDXCは、SD Card Associationの商標または登録商標です。Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc. USAの商標または登録商標です。その他記載されている会社名、製品名、規格名は各社の商標もしくは登録商標です。本書は®マーク、TMマークを省略しています。